

平成 28 年度松阪市環境パートナーシップ会議全体会 議事録

日時 : 平成 29 年 1 月 26 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 2 時 55 分
場所 : 松阪市産業振興センター 3 階研修ホール
出席者 : 22 会員 (出席 23 名)

市民 6 名

朴恵淑 (会長)、天野雅仁、坂下喜代一、鈴木博、中北善彦、
中西秀和

市民団体 6 団体

碧川周辺地域の自然と環境を守る会、嬉野アイリス、
松阪市自治会連合会 (2 名)、松阪ライオンズクラブ、
まなび～原発@松阪、三雲アイリス

事業者 10 社

愛知機械工業株式会社、株式会社ぎゅーとら、シャープ株式会社、
住友理工株式会社、セントラル硝子株式会社、株式会社第三銀行、
東邦ガス株式会社、ニプロファーマ株式会社、
マックスバリュ中部株式会社、松阪農業公園ベルファーム

オブザーバー 1 名

三重県松阪地域防災総合事務所長 (代理 環境室長天野亘康)

アドバイザー 1 名

近畿大学工業高等専門学校非常勤講師 (西孝)

事務局 4 名

好循環社会担当参事兼環境・エネルギー政策推進課長 (政木達也)、
環境エネルギー政策室長 (山口博司)、
環境エネルギー政策室主任 (徳田剛士)、
環境エネルギー政策室係員 (世古貴彦)



〈議 事〉

開会にあたり政木好循環社会担当参事兼環境・エネルギー政策推進課長から挨拶

事務局：会員総数 54 会員に対し、出席 22 会員、委任 28 会員です。環境パートナーシップ会議規約第 10 条第 3 項により出席及び委任で過半数に達しており、本会議が成立していることを報告します。

会 長：環境パートナーシップ会議が発足して 9 年目になります。県内 29 市町と付き合いがありますが、松阪市の環境パートナーシップ会議はおもしろいです。こういった活動はなかなか長続きしません。継続することはもちろん、プロジェクトベースでの活動に行政が後押しをしています。松阪モデルと考えてもよいくらいです。年 1 回の会議で各プロジェクトの成果や課題について共有します。皆の力を合わせて、強みで弱みを補っていきましょう。平成 28 年度の結果を踏まえて、平成 29 年度の取組みを行います。今日は実りの多い全体会にしたいと思います。

事項 1. 平成 28 年度の活動報告及び平成 29 年度の活動について

会 長：各プロジェクトのリーダーから平成 28 年度事業の報告をお願いします。それぞれのリーダーからの紹介を一気にするか、プロジェクトごとに議論するか、どちらがよいでしょうか。

事務局：まとめた方向でお願いします。

会 長：時間の関係もあるのですべてのプロジェクトの報告をまずしてもらいます。質問があればその都度でもよいです。

各プロジェクトのリーダーから活動について報告。

会 長：ありがとうございます。各リーダーから 4 つのプロジェクト会議の活動について報告がありました。コメント・質問等ありますか。なければ私からコメントさせていただきます。緑カーテンプロジェクトは、三重県では平成 19 年に伊勢市からスタートし、次に松阪地域で取組みが始まったものです。レジ袋の収益金を活用して事業をしています。各地域で緑カーテン事業をしていますが、松阪が一番活発です。保育園・幼稚園・小学校・中学校は自発的に取り組んでいるところも多いですが、個人や団体も含めてやっているのは松阪の緑カーテンプロジェクトだけであります。こうやって安定しているのは松阪モデルです。ある保育園は毎年素晴らしいカーテンをつくっていただいております、今年は市長

賞を受賞しました。授賞式では子どもたちも来てもらい、子どもは頑張っているんだと感じることができました。来年は会長賞という言葉もありましたが、会長は優秀賞に景品を贈呈するため、会長賞はしばらくなしで良いと思います。簡単ではないかと思いますが、どうか引き続きよろしくをお願いします。環境フェアは、今年は人数が少し少なかったという話がありましたが、それでも素晴らしいです。12月には県全体の環境フェアがありますが、どう頑張っても4,000人くらいです。松阪地域だけでこれだけの来場者数があるのは素晴らしいです。啓発活動プロジェクトは、パートナー通信が素晴らしいです。こういった通信で情報提供があることはとても良いことです。市のホームページからバナー広告などですぐに通信を見つけられるような構成にしてもらいたいです。省エネ活動プロジェクトに関して、クールチョイスという言葉を知っていますか。井村屋の浅田 CEO から素晴らしい提案がありました。スマートチョイスはどうでしょうかという話です。私からも提案したいと考えています。省エネ活動プロジェクトでも良いネーミングを考えて、いろんな人が参画すると良いと思います。関連してでも、違った視点でも、みなさんから質問やコメントはありますか。平成 29 年度の活動提案もありますので、そちらでも何かありましたらコメントをお願いします。なければ次の報告に入る前に、本年度新たに加入いただいた会員からご挨拶をいただきます。

事務局：本年会員になられた方を紹介させていただきます。本日の会議にお越しいただいている新規会員の方からご挨拶を頂戴したいと思います。

会 員：ジュースの空き缶が散乱している姿を見て、小さい子供への啓蒙活動が必要だということで、子どもにポスターを書いてもらっています。犬のふんを家に持ち帰ろうというポスターも書いてもらいました。自治会からは犬のふんを防止する看板の要望もあるなかで、市の環境課に看板も寄付させていただきました。

会 員：嬉野地域にある医薬品を製造している製薬会社です。工場も 24 時間稼働しており、環境への配慮も積極的に取り組んでいます。よろしくお願いします。

会 長：質問です。部署名にある EHS とは何でしょうか。

会 員：Environment Health Safety という意味です。

会 長：では次の報告をお願いします。

事務局から市民・市民団体部会及び事業者部会の活動を報告。

事務局から平成 29 年度の活動予定について提案。

会 長：ありがとうございます。各プロジェクトのリーダーから平成 28 年度の報告があったなかで、平成 29 年度の活動提案をしてもらいました。各リーダーさんよろしいでしょうか。

各リーダー：異議なし。

会 長：各プロジェクトの活動について、会議の回数も多かったり少なかったりとありますが、よろしくお願ひします。各部会についても 1 回の開催をよろしくお願ひします。平成 28 年度の活動報告及び平成 29 年度の活動提案について承認ということでよろしいか。

会 員：異議なし

会 長：ありがとうございます。承認されました。次に事項 2、規約変更について事務局からよろしくお願ひします。

事項 2. 規約変更について

事務局から平成 29 年度に予定されている松阪市の組織機構改革に伴い、規約に変更が生じることを提案。

会 長：ありがとうございます。みなさんよろしいですね。

会 員：異議なし。

会 長：私から教えてほしいことが 1 点と、提案が 1 点あります。課名が環境・エネルギー政策推進課から環境課に変わるということで、懸念していることがあります。省エネルギーについても取り組んでいくことになりますが、エネルギーは別の部門に行って環境だけやることになるのでしょうか。

事務局：エネルギーという言葉が取れることにはなりますが、決してエネルギー政策はしないということではありません。環境・エネルギー政策推進課という名前が長く、市民にもわかりにくいという考え方もあります。より市民に覚えていただきやすいという視点も踏まえての見直しになります。

会 長：ありがとうございます。要するにエネルギー政策もこれまでどおりやっていくということですね。ぜひとも引き続きよろしくお願ひします。次にお願ひした

いのが緑カーテンプロジェクトについてです。今年は良くないことで新聞の一面に載りました。今度は良いことで一面に載りましょう。緑カーテンコンテストの表彰式で商品を渡してもらえなかった子どもが一人泣いてしまいました。式の進行についてもしっかり考えていただきたいと思います。また、食品ロスについて考えていきたいです。廃棄物も減らしてごみを少なくすると、二酸化炭素の削減にもつながります。松阪市もうまくやれば補助金を取ることができます。食品ロスのモデル事業をやりましょう。取れるものは取ったほうがよいでしょう。毎日のように環境省にアクセスしてはどうでしょうか。会員の取組みも紹介していただいて、元気のいい松阪をPRしましょう。ホームページなどでの啓発活動は広報がやっているのですか。

事務局：広報です。

会 長：ホームページのトップページにバナーをひとつつくりましょう。ホームページで環境パートナーシップ会議のページにたどりつくまでに時間がかかります。事務局ぜひ頑張ってください。他にみなさんから何かありますか。

会 員：なし。

会 長：承認事項を終えましたので、事務局からお知らせをお願いします。

事項3. その他

事務局：活動する人をもっと増やしていきたいということで、環境パートナーシップ会議のポスターを作成しました。掲示いただける方は、本日お持ち帰りいただきたいと思います。

会 長：ポスターは一人どれだけもらえますか。

事務局：個人会員は1枚、団体会員は2枚、事業者会員は3枚を予定しています。他にイベント等でお使いいただける場合は、その都度送付をさせていただきますのでご連絡ください。

会 長：前につくったマグネットはなくなりましたか。

事務局：まだあります。希望される方にはお渡しできます。

会 長：他にありますか。

事務局：新年度のプロジェクトメンバーを募集します。プロジェクト会議は環境パートナーシップ会議の根幹をなすものです。みなさんにはそれぞれお時間をとっていただくこととなりますが、活動の活発化のため参加をお願いします。平成 28 年度でプロジェクトに加入の方も、再度提出いただきたいと思います。

会 長：より多くの方が参加できるように、会員募集をすることは良いことです。ここで関わる方はボランティアベースで活動していただける意欲の高い方です。この方々にインセンティブを与えられるように市でも考えていただきたいと思います。市にもいろいろ審議会や委員会があると思いますが、そういったところに委員として就任していただくなど、充て職の委員と同じように、環境パートナーシップ会議から代表して、それが無理なら一般代表においてでも環境パートナーシップ会議でいろんな活動をしておられる方を活用し、市の大事な政策立案の部分において委員として関わっていただけるように、よろしくをお願いします。これだけの人材がボランティアだけなのはもったいないです。

会 員：昨年すべてのプロジェクトに参加していましたが、どのプロジェクトにおいても人数が少なかったです。各会員いずれかのプロジェクトに参加してもらうようによろしくお願いします。

会 員：プロジェクト会議を何回か開催されておるようですが、開催時間帯はいつですか。

事務局：原則として平日昼間に開催しています。

アドバイザー：ライトダウンキャンペーンとまちなか避暑地キャンペーンとはどのような活動ですか。

事務局：ライトダウンキャンペーンは環境省が率先して取り組んでいるもので、夏至の日や七夕の日にライトアップ施設の電気を消して、家庭でも可能な限り電気を消して環境について考えましょうというキャンペーンです。まちなか避暑地キャンペーンとは松阪市独自の取組みで、夏の日中の暑い時間に涼しい施設で過ごしてもらうことで、家庭のエアコンを消しましょうというものです。

会 長：予定よりやや早いですが終了します。みなさん平成 29 年も引き続きよろしくお願いします。